

より快適で、より安全な 国道28号を目指して。

交通混雑の緩和

平成10年5月及び平成12年4月に宇山～納間（延長3.6km）を開通し、県道洲本松帆線（旧国道28号）からバイパスに交通が転換したことから、主要渋滞ポイントであった新加茂橋西詰および桑間交差点での交通渋滞は解消されました。

今後、事業中区間の整備により現道の交通がバイパスに転換され、現在渋滞が発生している新潮橋北詰交差点の渋滞解消が期待されます。

【未開通区間の渋滞状況】



国道28号の混雑状況（新潮橋北詰交差点）

【開通済区間の交通量の推移】



出典：H9は全国道路・街路交通情勢調査より H30は兵庫国道事務所調べ（H30.5.29）



災害時の代替路の確保

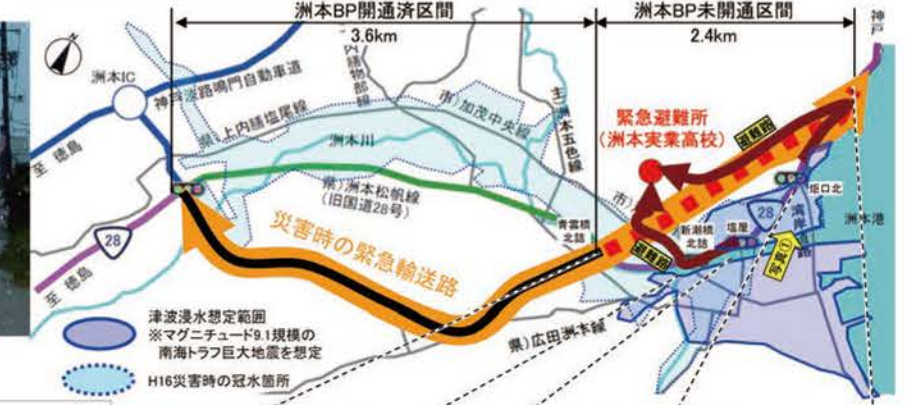
平成16年の台風23号では、旧国道28号及び国道28号が冠水し通行止めとなりましたが、開通済区間が現道の代替路として機能しました。未開通区間の国道28号の一部は、南海トラフ巨大地震時の津波浸水想定範囲に位置しています。洲本バイパスの計画高さは想定津波高さよりも高く計画されているため、災害時の避難路及び緊急輸送路として機能することが期待されます。

【国道28号の冠水状況】



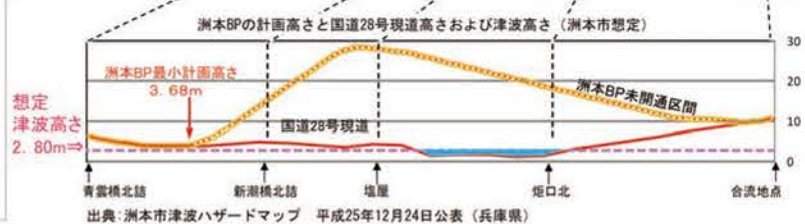
写真①（平成16年10月20日撮影）

【洲本市の標高と津波高さ（兵庫県想定）】



南海トラフ巨大地震による津波が発生した場合は、速やかに高台に避難する必要があります。洲本バイパスは、高台の避難場所に速やかに且つ安全に避難できるルートとして期待しています。

- 凡例
- 開通済
- 事業中
- 高規格幹線道路
- 直轄国道
- 旧国道28号
- 災害時の緊急輸送路
- 避難路

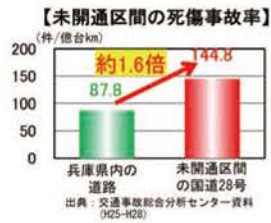


出典：洲本市津波ハザードマップ 平成25年12月24日公表（兵庫県）

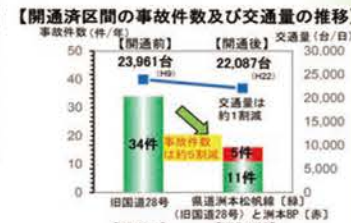
交通安全の確保

未開通区間と並行する国道28号の死傷事故率は兵庫県平均の約1.6倍となっているほか、当該区間は歩道の幅員が狭く、通学路指定区間等において、歩行者・自転車の安全確保が課題となっています。

開通済区間では事故件数が減少しており、事業中区間の整備による交通の転換により、国道28号の安全性の向上が期待されます。



写真【中学生の通学状況】



出典：交通事務局分析センター資料 (H25-H28)

出典：交通事務局分析センター資料 (H9-H11, H25-H28)
 国道28号の事故率は兵庫県平均の約1.6倍
 H9年度 全国道路・街路交通情勢調査
 H22年度 全国道路・街路交通情勢調査

観光施設へのアクセスの強化

洲本市内の観光入り込み客数は約100万人で推移しています。神戸淡路鳴門自動車道と連絡する洲本バイパスの整備により、観光施設へのアクセス強化が図られ、地域の活性化につながります。

【観光入込客数の推移（洲本市）】



※H27年度の大増は、淡路花博のサブメイン会場として洲本市中心街エリアが選ばれ、また、H29年度は、ニジゲンノモリなどTV放映の増加やインスタグラムのスポットとしての利用、洲本市においては城下町すもとレトロなまち歩きなど各種イベントが好評であったため、洲本温泉をはじめとする近隣観光施設の利用が増えたことも要因と考える。

出典：R1年度 兵庫県観光客動態調査報告書



概要

国道28号は、神戸市を起点として徳島市にいたる総延長約199kmの幹線道路で、淡路島内の経済、産業活動、地域の生活道路として大きな役割を果たしてきました。近年、交通量の増加や地域開発などから、洲本市街地をはじめとして交通混雑が発生し、地域の人々の生活にも影響を及ぼしています。

洲本バイパスは、神戸淡路鳴門自動車道洲本ICと洲本市街地のアクセスを強化し、通過交通を市街地からバイパスに転換させ、交通混雑の緩和を図るため計画された延長6.0kmのバイパス道路です。

平成10年5月に大野～納間（延長0.7km）、平成12年4月には宇山～大野間（延長2.9km）を開通いたしました。現在は、残る炬口～宇山間(延長2.4km)の開通を目指して整備を進めています。



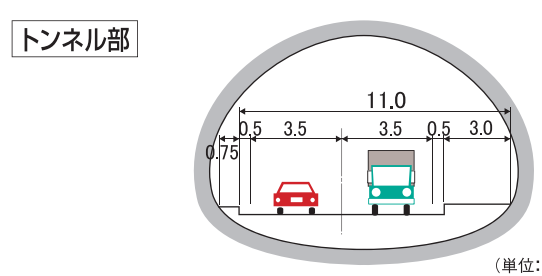
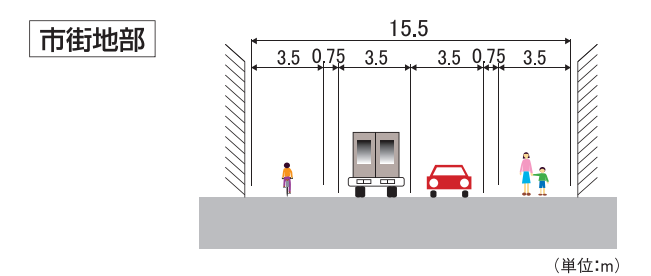
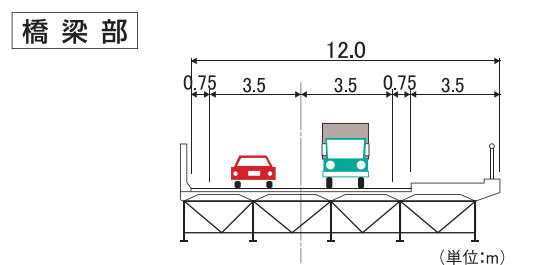
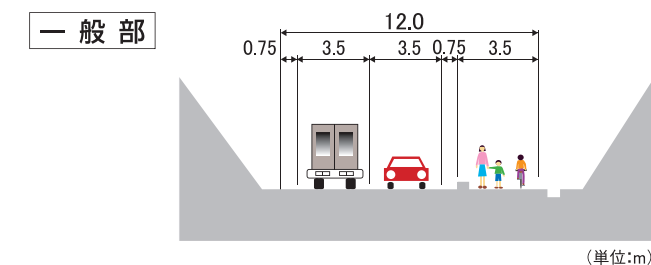
計画諸元

区間	洲本市 炬口～納
延長	6.0km
規格	第3種第2級
車線数	2車線
設計速度	60km/h
最急縦断勾配	5.4%
最小曲線半径	150m

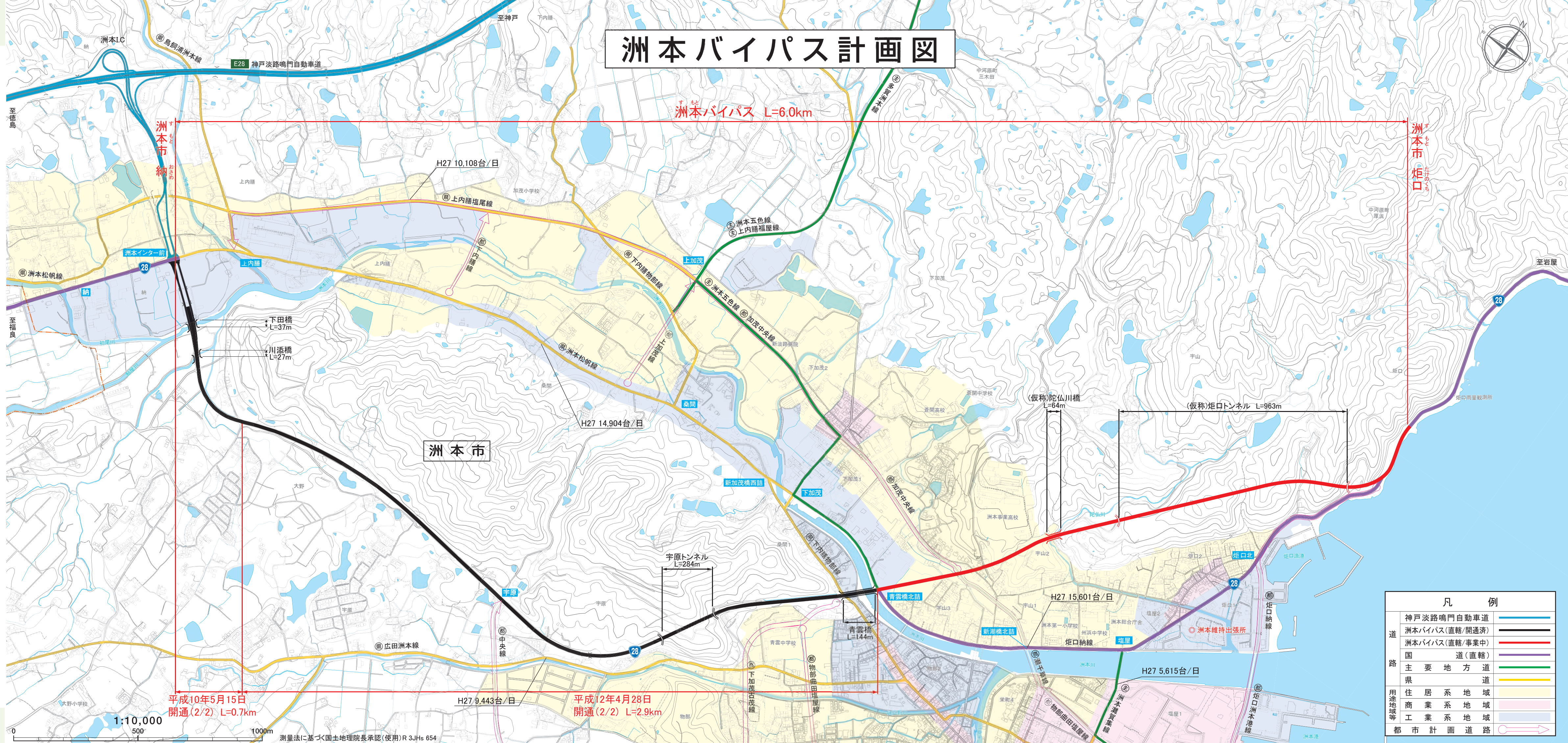
事業の経緯

昭和48年～52年	調査
昭和54年12月	ルート承認
昭和57年6月	都市計画決定
昭和60年度	事業化
昭和63年度	用地着手
平成元年度	工事着手
平成10年5月15日	大野～納間供用 L=0.7km
平成12年4月28日	宇山～大野間供用 L=2.9km

標準断面図



洲本バイパス計画図



凡例

神戸淡路鳴門自動車道	
洲本バイパス(直轄/開通済)	
洲本バイパス(直轄/事業中)	
国道(直轄)	
主要地方道	
県道	
住居系地域	
商業系地域	
工業系地域	
都市計画道路	